

クラウドベースのシステム管理の利点



今日の企業インフラの管理は、複雑な仕事です。

「企業インフラが分散するにつれて、肥大化・複雑化しており、それに応じてシステム管理機能への負担も高まっています。このため、システム管理機能にもスケーラビリティや高可用性が求められています。」 (IDC) ¹

組織の 90 % は、2020 年までにハイブリッドのインフラ管理を採用予定です (Gartner) ²

従来の能力を超える

80 %



データセンター、エッジ、クラウドや IoT の増加に伴い、データポイントと接続数は爆発的に増えています。こうした流れは「ソフトウェア定義型」による簡素化という時代の流れに逆行しており、IT 運用の複雑さを増大させています。 (Gartner) ³

クラウド管理を導入している組織の 80 % は 2022 年までに、ハイブリッド/マルチクラウドの管理要件に対処するのに少なくとも 4 つのツールが必要となる見込みです (Gartner) ⁴

組織の間では、クラウドベースの管理プラットフォームを採用する動きが広まっています。

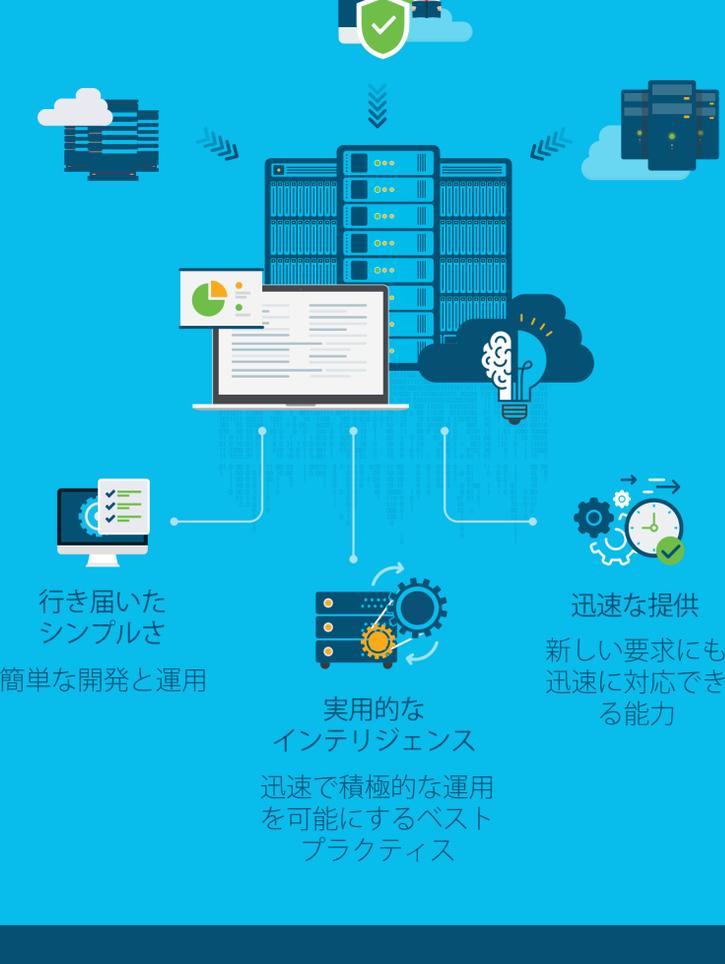


次世代インテリジェントオートメーション



AI を実現する機械学習のアルゴリズムとモデルを改良できるのは、大量のデータだけです。アルゴリズムによって医療カルテを分析し、医師による診断を支援できるのであれば、IT 運用業務もアルゴリズムで改善できるはず。 (Forbes) ⁶

データセンター業務を支える Cisco Intersight™ を新たに発表



Cisco Intersight では、クラウドベースのインテリジェンスをデータセンターの随所に提供

サブスクリプションベースの利用



継続的な機能統合

出典：

¹ IDC analyst connection, considerations for adoption of AI-Driven, Cloud-Based Systems Management Platforms (IDC Analyst Connection : AI 主導/クラウドベースのシステム管理プラットフォームを採用する際の検討事項)、2017 年 7 月
² Gartner のプレスリリース：「Gartner says a massive shift to Hybrid Infrastructure Services is underway (Gartner は、ハイブリッドインフラサービスへの大規模な移行が起きていると伝える。)」2017年4月5日
³ 「New generations of integrated systems will apply AI and emerge as Self-Organizing Systems of Intelligence (新世代の統合システムは AI を応用し、知能を持った自己組織化システムとして登場)」Gartner、G00337206、2017 年 8 月
⁴ Gartner：「Market guide for Cloud Management Platforms (クラウド管理プラットフォームのマーケットガイド)」、2017 年 4 月 25 日、ID : G00308545
⁵ IDC Worldwide System Management Software-as-a-Service Forecast, 2016 - 2020 (システム管理 Software as a Service (SaaS) に関する世界的な予測、2016 ~ 2020 年)、IDC、2016 年 2 月
⁶ 「Artificial intelligence is set to change the face of IT Operations (人工知能は IT 運用を変える)」、Forbes 誌、2017 年 7 月 16 日

[詳細情報](#)